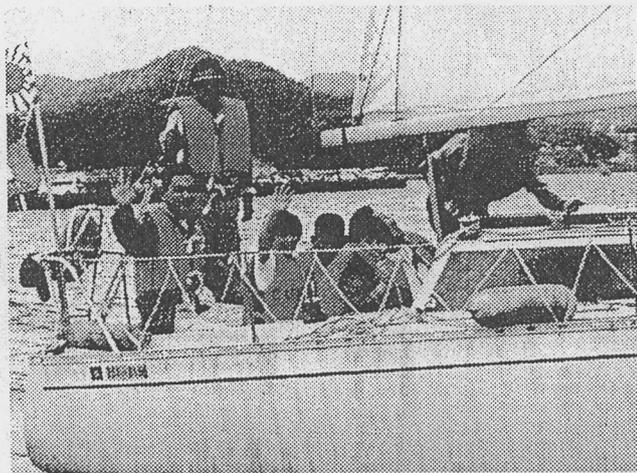


秋の風 障害者も満喫



潮風に吹かれ、楽しそうな参加者ら

リラックスした様子。潮風に吹かれながら、行き交う船に笑顔で手を振っていた。

舞鶴市東鹿原、知的障害者施設「みずなぎ学園」に通う女性の3人は「初めての体験。風を感じて、気持ち良かった」と喜んでた。この催しは4日も約80人が参加して行われる。

【原 美由紀】

セーリング初体験

100人、舞鶴湾でヨット航海

舞鶴市の舞鶴湾で3日、ヨット体験会(財団法人日本ヨット協会主催)が開かれ、同協会の呼び掛けで参加した障害者らもセーリングを楽しんだ。

この催しは4年前から全国で行われており、今回で8回目。舞鶴湾が初めて会場になった。パラリンピックにヨット競技で出場した皆藤譲治さん(63)「東京都も駆けつけ、「海の上で

1998年(平成10年)10月4日 日曜日

ヨットのだいご味

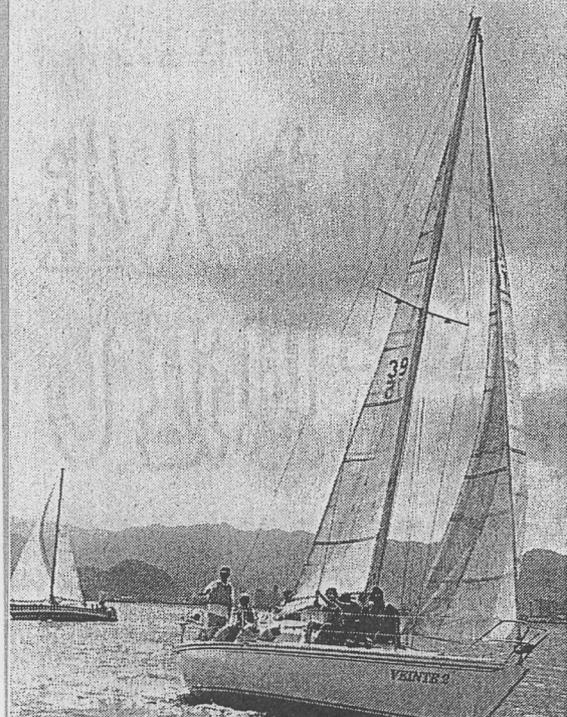
潮風受け満喫

90人が湾内巡る

府内で初めて実施

心身に障害のある人を対象にしたヨットの体験クルージング(日本ヨット協会主催)が3日、舞鶴市の舞鶴東港一帯で行われ、参加者らが帆いっぱい潮風を受けて走るヨットのだいご味を楽しんだ。

この日は、府内の障害者施設などから約九十人が参加。八十人乗りの大型クルーザー十艇に分乗、午前と午後の二回、舞鶴市浜の五条海岸から舞鶴東港へのクルージングに出発した。青空が広がり、ほど良い風が吹く絶好のコンディション。参加者らは潮風を気持ち良さそうに受けながら、二時間近い体験乗船を満喫していた。同市鹿原の障害者授産施設「みずなぎ学園」の女性五人は「初めての催しだったが、とても楽しかった。また乗ってみたい」と笑顔を見せていた。



障害者らに乗せて帆走するヨット(舞鶴東港)

また、九六年に米國・アトランタで開かれたパラリンピックのヨット競技に、日本代表キャプテンとして出場した皆藤譲治さん(63)「東京都足立区」も招かれ、「海はみんなのもの。障害がある人たちも挑戦してほしい」と話していた。四日も開かれ、二日間で計百八十人が体験するという。

舞鶴市府内の障害者が体験クルージング